

新希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100-8051(住所不要) 毎日新聞生活報道部

ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

伝言板

宮城県松島市大曲 寺沼の津田晴美さん(49)「友人の青森県むつ市の川端久美子さん(49)が捜されています。約30年前、千葉県松島市の新松戸中央病院(当時)で医療事務員として2年間、一緒に働いていました。津田

さんは3月中旬は近くの市立大曲小学校に娘さんと避難していましたが、「5月初めに小学校に出した手紙が返ってきませんでした。避難所にいるのなら何かお役に立てれば、消息を携帯(090・4042・4229)にお知らせしてください」

「愛の餃子」またまた「コンサート」3・11 Pray for Japanで募った義援金などによる温かい「愛の餃子」の炊き出しの日程です。いずれも宮城県で19日12時、南三陸町の町立志津川中学校で20日11時半、山元町の中央公民館で22日12時、七ヶ

は留守番電話がファクスを入れてください」とのことです。▼震災復興祈念ウォークしませんか 20日12時半、大坂町和和町土生町の土生神社(JR東岸和田駅から徒歩10分)集合。土生神社郷土史講座特別企画として、2時間余りかけて市内3ヶ所を歩きます。島田稲荷や愛宕神社、三の丸神社などをお参り。天啓寺で解散。参加費500円は全額義援金として寄付します。雨天決行。問い合わせは土生神社(072・4266・7287)。

高料金所跡地で現地情報提供
できる部分を肩代わり
「被災地でボランティア」に苦しみと小林さん。「肩代わり」できる部分を引き受けるのが、ボランティアの役割だ。今月15日までの開設中の利用者は来所者が1280人、電話相談が737人上った。「特にボランティアの数が非常に多く、受け入れ先が見つからない人もいたが、現地の人が声を掛けてみてはどうか。市民交流も大切だ」と話す。触れ合いから何かを感じ取ってほしい、というのが小林さんの願い。「ボランティアの基盤は共感です」(丹野恒一)

サポーター情報

東日本大震災 18日現在

医療

急患や夜間の診療について問い合わせは以下の通り。
△岩手県 沿岸部の急患・夜間急患診療は県立宮古病院(0193・62・4011)、県立大船渡病院(0192・62・4011)、県立大宮城(0192・26・1111)。
△宮城県 県休日・夜間診療案内▽仙南地区0224・53・3409
▽仙台地区022・16・9970(仙台市内は022・216・9960)▽大崎(栗原)登米地区0229・24・2267▽石巻地区0225・95・3290
▽気仙沼地区0226・24・2154
△福島県 救急医療情報案内▽福島県0249・0990
△茨城県 救急医療情報システム029・241・4199

予防接種

岩手県陸前高田市は6月から、予防接種と乳幼児健診を再開する。予防接種は6月2日にMR(はしか、風疹)、9日3種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風)、16日2種混合(ポリオ)を予定している。乳幼児健診は、6月15日に1歳6カ月児健診、7月13日に2歳6カ月児健診、7月13日に2歳6カ月児健診。いずれも事前予約が必要。予約対象者などの問い合わせは、同市役所健康推進課(0192・54・2111(平日9時～17時))。

震災ホットライン

「震災ホットライン・フォー・ウーマン」3・3721・1288。平日10～16時。女性を対象とした深い悲しみ(グリーフ)をもつ人が対象。電話・メール(earthquake@earthquake.org)で相談のうえ、必要に応じて個人面談も行っている。また21日13時、大切な人を亡くした子供や大人を対象とした集いを仙台市若林区の仙台青葉学院短大で開催。問い合わせはホットライン。

移動郵便局

貯金の引き出し、転居の再発行など。19日の予定は次の通り(いずれも11～14時)。
△岩手県 田代町南側▽蒲田公民館▽大高▽安波小▽リオンピア三陸みやこ▽旧金石商高避難所
△宮城県 宮川町総合体育館▽社団法人総合体育館ベイサイドアリーナ▽七ヶ浜中公民館▽多賀城文化センター▽亘理小

自動車税

被災地では自動車の買い替え需要が高まっているが、全都道府県は、地震や津波の影響でかわれたり、使用不能となった自動車を新たに買い替えた人に対し、自動車取得税と13年度までの自動車

ミニニュース

△広域避難者110番 弁護士や司法書士でつくる東京災害支援ネットワーク(とすねっと)は、全国に避難した被災者を対象にした電話相談会「広域避難者110番」(0120・15・2756)を、21日10時から開催する(中国地方は同日10～17時は0120・968・906)。

交通

JR在来線の再開見込みは次の通り。
△石巻線▽前谷地～石巻は19日再開予定。石巻～宮古～小田、陸中野田～大畑は再開予定。石巻～大畑は再開予定。
△仙石線▽東塩釜～高城町は5月下旬、高城町～石巻は未定。
再開見込みの立っていない路線と区間は次の通り。

バス

岩手県北バスと福島交通が共同運行していた臨時高速バス盛岡～福島(盛岡～郡山)が22日で運行終了。東北新幹線の復旧などで代替交通手段が整ったため。

電話帳

被災がん患者ホットライン(国立がん研究センター) 紹介状あり=03-3547-5130(平日10～16時) 紹介状なし=03-3547-5293(平日9～18時) てんかん支援ホットライン 054-245-5446 アルギー支援ネットワーク 052-485-5208

住宅金融支援機構

住宅金融支援機構 0120-086-353 日本政策金融公庫 0120-154-505 (土日0120-220-353) 預金口座照会センター(全銀協)0120-751-557※ 災害地域生保契約照会センター(生保協会) 0120-001-731※

被災地へボランティアに行くには

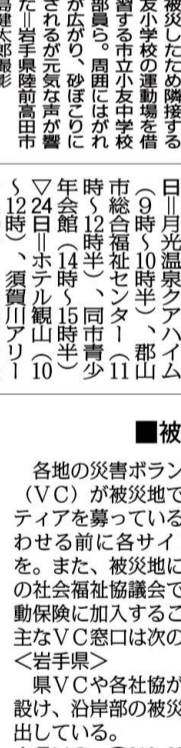
各地の災害ボランティアセンター(VC)が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

電話帳

行方不明者相談ダイヤル 岩手県警 0120-801-471 宮城県警 022-221-2000 福島県警 024-522-2151(内線3024) 通信・ライフライン NTT災害用伝言ダイヤル 171 日本郵便 0120-2328-86(平日8～22時、土日祝9～22時) 東北電力 0120-175-366



被災地で子どもたちが野球を遊ぶ様子。



被災地を訪問した小林さん。

渡先が、岩手県宮古市の佐々木ひろみさんに決まりました。佐々木さんの姉が希望新聞を見て連絡したそうです。娘さん(15歳)が通動に使うと聞いています。22日、仙台市内で引き渡します。 18日に「胃ろうの栄養剤、送りませ」と呼び掛けられたが、栄養剤が通動に使われ、アセス(ツインラン)は医療用品のため、譲渡できませんでした。経腸栄養剤は医師の処方が必要ですが、提供を申し出ていた女性にもお伝えし、了解していただきました。

船あればなんとかなる



漁の再開準備をする千葉宏一さん(左端)ら

希望新聞



被災地から 声

岩手

60歳まで乗った。最近 橋正男さん(82)...

Q&A

Q ペットの一時預かりの現状は? A ボランティアから預かりの 申し出が多数あります

Q&A

Q ペットの一時預かりの現状は? A ボランティアから預かりの 申し出が多数あります

八百長問題 新たな疑惑なし

大相撲の八百長問題 理事会で審議され、日本相撲協会の特 別調査委員会(座長...

証拠なく判断に限界

調査終了後に取材 された。伊藤座長は 記者会見で「調査は...

高橋由一の油彩発見

長野の資料館で10年ぶり 発見された高橋由一が描いた油彩の山田庄...

釜石で被災 全力救護

釜石市で被災した消防士 堀切友哉さん(1) 遠野市の消防士 堀切友哉さん(1)

三陸物語

Sanriku Monogatari 遠野市の消防士 堀切友哉さん(1)

遠野市の消防士 堀切友哉さん(1)

遠野市消防署で救急車の前に立陣切さん

メゾソプラノ歌手の小嶋康子 CD発売

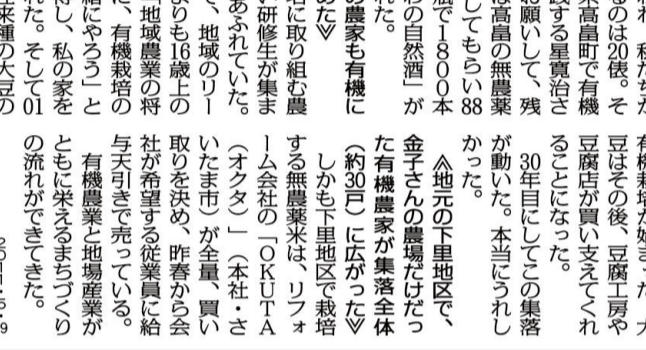
被災者に贈る歌

被災者に贈る歌 被災者に贈る歌

時代を駆ける 金子美登

YOSHINORI KANEKO 金子美登 (8) 新たな目標は有機農 業によるまちおこし...

有機農業 地元に広がる



かねこ・よしりのり 埼玉県小川町生まれ。約300年 続く農家の長男。63歳(写真は4月30日、経営する 「霜里農場」で研修生らと。中央が金子さん)

復興支援センター

復興支援センター 復興支援センター

中学校長らを慰労

中学校長らを慰労 中学校長らを慰労

NHKが被災地を自慢

NHKが被災地を自慢 NHKが被災地を自慢

NHKが被災地を自慢

NHKが被災地を自慢 NHKが被災地を自慢

NHKが被災地を自慢

NHKが被災地を自慢 NHKが被災地を自慢

毎日福祉頭脳 推薦締め切り迫る

毎日福祉頭脳 推薦締め切り迫る 毎日福祉頭脳